



第 17 回 古代ローマの文化

1 古代ローマの文学と思想

- ・ローマ文化は、ギリシア文化やヘレニズム文化の影響を強く受けていた。
- ・またローマ帝国で用いられたローマ字、そして公用語の（ ）は、中世ヨーロッパの共通語となり、ヨーロッパ文化の基礎となった。

<ラテン文学>

- () …ラテン文学の大家であり著書多数。カエサルの政敵だった。
- () …ローマ建国叙事詩である『 』を書いた。
- () …叙情詩人。ギリシアに留学し、ギリシア文学にはまった。
- () …叙情詩人。『恋愛術』や『転身譜』を書いた。



キケロ

元老院で演説するキケロ(左)。カエサルやアントニウスと対立し、最後は暗殺された。著書に『国家論』がある。



ウエルギリウス

ルネサンス期に書かれたダンテの『神曲』では、案内役を務めている。『アエネイス』とは、物語の主人公の名前にちなむ。『農耕史』も有名。



オウィディウス

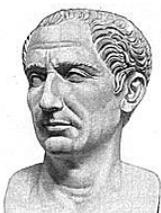
『恋愛術』は、今でいう恋愛マニュアル本であった。内容はかなり強引で卑猥。それがもとで、アウグストゥスの時代に流刑となった。

<哲学>

- () …ストア派の哲学者で皇帝ネロの師。著書に『幸福論』など。
 - () …ストア派の哲学者で、奴隷身分であった。
- マルクス=アウレリウス=アントニヌス…ストア派の「哲人皇帝」。著書に『 』がある。
- プロティノス …プラトンの思想を受け継ぎ、新プラトン主義を創始した。

<歴史・地理>

- () …ポエニ戦争に参加し、『歴史』のなかで政体循環史観を説いた。
- () …ローマの政治家。遠征の記録である『 』はラテン語の名文であり、史料としても重要である。
- () …建国から前9年までの歴史を『 』で書いた。
- () …ギリシア人の地理学者で、『 』を書いた。
- () …ゲルマン人の風土や社会について書いた『 』や、ローマの退廃を警告した『 』がある。
- () …ギリシア人の歴史家で、ギリシアとローマの英雄を比較した『 (英雄伝) 』を書いた。



カエサル

ローマ史では、政治面でも文化面でも重要な人物である。ユリウスとは、カエサルが属する氏の名である。



タキトゥス

ゲルマン人の歴史に関しては、『ゲルマニア』が最も重要な記録である。また『年代記』は、ネロの死までを扱っている。



ブルタルコス

例えばアレクサンドロスとカエサル、デモステネスとキケロなど、類似したキャラクターの歴史人物を比較しながら、伝記を書いている。

<自然科学>

- () …エジプトの太陽暦を修正して、() を作った。
→1582年に() に改良されて使用中。
- () …百科事典である『()』を書いた。火山の噴火で死去。
- () …『天文学大全』で「()」を主張した。

2 古代ローマの建築と社会

・ローマ文化は実用的な分野ですぐれ、特に土木建築では石をアーチ状に積む建築法を用いて、それまで考えられなかったような巨大な建造物を各地に建設した。

- ・100万以上の人口を抱えるローマにとって、水の確保は最重要問題であった。
→そこで各地に石造りの()を建設し、ローマに水を運んでいた。
- ・軍隊の移動や情報伝達のための軍道は、総延長85000キロに達しており、特に有名なものはローマから南イタリアを結ぶ()である。



ガール水道橋

南フランスに残り、現在でも水道として用いられている。1kmあたりの高低差は、わずか34cmである。歩いて渡ることもできる。



アッピア街道

ローマ最古の軍道で、ローマから南イタリアまでを結んだ。現在も利用されており、「街道の女王」の異名を持つ美しい道。



ポンペイで埋もれた人

南イタリアの都市ポンペイは、79年のウェスウィウス火山の噴火で壊滅した。そのため2000年前の生活がタイムカプセルのように保存されている。

- ・ローマやその他の都市には、カラカラ浴場など公共浴場、戦勝記念の()、神々をまつる()などが建設された。
- ・生活の中心となった広場はフォルムと呼ばれ、その遺跡をフォロ＝ロマーノという。
- ・()で行われる剣闘士の戦いや、楕円形の競技場で行われる戦車競争が、市民の人気となった。



コロッセウム

西暦80年に完成。5万人を収容でき、テントで屋根も作られていた。今の東京ドームによく似た構造かもしれない。水を入れて、海戦を行うこともあった。



コンスタンティヌスの凱旋門

コンスタンティヌス帝がローマに建設したものが有名。後にナポレオンがこの凱旋門を真似たものをパリに建設させた。



映画『グラディエーター』

ローマ史を映画で学ぶなら、第13回で紹介した『ベン＝ハー』に加えて『グラディエーター』もおすすめ。どちらもアカデミー賞を受賞。長期休みにぜひ観ましょう。

- ・()は、最初の頃はローマ市民権を持つ人々(ほとんどがイタリア半島に住む)のみに適用される()であった。
→領土が拡大し、3世紀にローマ市民権が全ての平民に与えられると、様々な文化や習慣を持つ人々に適用できる()が成立していった。
- ・6世紀、東ローマ帝国の()の命で、司法長官のトリボニアヌスが『()』としてまとめた。